令和６年度

財政援助団体等監査報告書

茂原市監査委員

茂 監 第 ４ ５ 号
令和６年１０月１５日

茂原市長　市原　淳　様

茂原市監査委員　　風　戸　博　恭
茂原市監査委員　　細　谷　菜穂子

財政援助団体等監査結果について

地方自治法第１９９条第７項の規定に基づき財政援助団体等の監査を実施したので、同条第９項の規定により、その結果を次のとおり提出します。

なお、この監査の結果に基づき措置を講じたときは、同条第１４項の規定により通知願います。

１　監査の対象

青少年育成茂原市民会議

令和５年度 青少年育成茂原市民会議補助金

２　監査の期間

令和６年８月１６日から１０月１５日まで

３　監査の方法

・着眼点（所管課）

・補助金の決定は法令等に適合しているか。

・補助金額の算定、交付方法、手続等は適正であるか。

・補助事業の履行確認及び実績報告の確認は適正であるか。

（財政援助団体）

・補助金が事業の目的に沿って適正に活用され、補助事業の効果を十分に上げているか。

・補助金の交付申請、実績報告等の手続きは適正であるか。

・補助金に係る帳簿、証拠書類、会計書類の作成及び保管状況は適正であるか。

・主な実施内容

所管課及び財政援助団体から提出された関係諸帳簿等を調査するとともに、説明を聴取した。

４　監査の結果及び意見

関係諸帳簿及び支出証拠書類等を照合した結果、見直し及び改善すべき点が認められたことから、対応を検討し、適正な事務の執行にあたられたい。

詳細については、次のとおりである。

（１）　監査対象団体　　青少年育成茂原市民会議　（所管課　生涯学習課）

（２）　補助金の名称　　青少年育成茂原市民会議補助金

（３）　補助金の額　　９８６，０００円

（４）　協議会の目的　　青少年の健全育成に関する事業を推進することを目的とする。

（５）　財務の状況　（令和５年度）

ア　補助金の交付申請等の事務手続き

交付要望書	令和　４年１０月２６日
内定通知書	令和　５年　３月１７日
交付申請書	令和　５年　５月２２日
決定通知書	令和　５年　５月２２日
着手届	令和　５年　５月２２日
概算払請求書	令和　５年　５月２４日
補助金の交付	令和　５年　６月　７日
完了届	令和　６年　３月３１日
実績報告書	令和　６年　３月３１日
確定通知書	令和　６年　３月３１日

イ　収支決算状況

収入			支出		
区分	予算現額	決算額	区分	予算現額	決算額
補助金	986,000	986,000	本部運営費	190,000	171,626
小学校区会費	2,122,500	2,027,050	小学校区活動費	2,602,500	2,507,050
雑収入	376	4	家庭部活動費	350,000	182,306
繰越金	376,124	376,124	育成部活動費	150,000	27,415
			環境部活動費	90,000	84,071
			予備費	102,500	0
合計	3,485,000	3,389,178	合計	3,485,000	2,972,468

収入決算額	３，３８９，１７８円
支出決算額	２，９７２，４６８円
差引金額	４１６，７１０円

収入決算額に対する市補助金の割合は、２９．０９％であった。また、予算に対する執行率は、収入９７．２５％、支出８５．２９％となっている。

（６）　意　　見

・補助金交付事務においては、青少年育成茂原市民会議（以下「市民会議」という。）の申請書類に一部不備や未提出のものが認められたことから、改めて必要書類について市民会議に示すとともに、審査を徹底し、適正な事務処理に当たられたい。

・補助対象経費の算定にあたっては、特定財源と思われる歳入があることから、改めて内容を精査し、適正な算定に努められたい。また、繰越金が事業費に比し多額であることから、市民会議及び各小学校区市民会議と協議し、適切な繰越額となるよう事業の見直しを検討されたい。

・市民会議の活動に係る会費については、現在、自治会からのみ徴収されているところであるが、自治会の組織率が低下していることから、市民会議の趣旨に賛同する会員を増やし、自治会に加入されていない個人や法人等多くの方からも会費を集める事ができるよう方策を検討されたい。また、正確な会員数が把握されていないことから、適切な会員数の把握に努められたい。

・各小学校区茂原市民会議への配分金については、補助金としての性格が強いように思われる。青少年育成茂原市民会議規約により配分金と名称を定めているが、配分金と定めた経緯を明らかにし、場合によっては名称の変更を検討されたい。

　青少年育成茂原市民会議は、長きにわたり地域で子どもたちの成長や安全を見守るという大きな役割を果たすとともに、さまざまな活動を通して子どもたちの健全育成に貢献されてきた団体である。

　子どもたちに必要な活動が時代の流れとともに変化する中で、本市の未来を担う子どもたちがより多くの経験を通して成長することができるよう、引き続き市と市民会議双方が連携を図りながら活動されることを期待する。